箱

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
箱

【コード】
N2753K

【作者名】
源雪風

【あらすじ】
骨董屋で買った箱が幸せを思い出させてくれるはーとふるすとーりー

私は骨董屋で幸福の箱を買った。

木製で貝が埋め込んであり、龍と虎が戦っている柄だ。

骨董屋の主人が言うことには、中には人生を幸福にする物が入っているという。

しかし買ってからすぐ開けるより、期間を置いてから開ける方が、箱が持ち主の幸せをより把握するのでいいという。

それからというもの毎日箱を開けるか開けまいか、中身は何かという事しか考えることが出来なくなつた。

我慢して一年が経つたとき、私の子供が箱を開けてしまった。

中には何も入っていないかつた。

私は騙されたと思つて骨董屋に文句を言いに行くが、店はつぶれていた。

悔しい気持ちで帰宅し箱を眺める。

この箱を開けるまで色々なことがあつた。

春、就職に失敗してこの箱を開けたくなつた。

そんな時、妻に出会つた。

夏、妻に箱を開けるようせがまれたがごまかして乗り切つた。

秋、二人の仲が深まつた。

冬、つまらない事で大喧嘩した。

箱の中には何も入っていないかつたが、この箱を見ると色々な思い出がメリーゴーランドのごとくよみがえるのだった。

そしてそれらはどれも輝いているように思えた。

宝箱の中の宝石のように。

よく箱を見ると中にねじ巻きが付いている。

それを回すと妻と私が大好きな歌のメロディがした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2753k/>

箱

2010年12月13日20時19分発行